

# 平成30年度「全国学力・学習状況調査」の状況報告

4月17日に全国の小学校6年生を対象に学力・学習状況調査が実施されました。なお、この調査は6年生のみの調査であり、今回は国語・算数・理科の3教科について調査しました。この調査結果が、子どもたちのすべての学力や生活の様子を表しているわけではありません。

## 1 各調査結果より

### <国語>

- よくできていた領域 「書くこと」
  - ・自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える。
  - ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。
  - ・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。
- △課題がある領域 「話すこと・聞くこと、伝統的な言語文化と国語の特質」
  - ・話し合いの参加者として、質問の意図を捉える。
  - ・計画的に話し合うために、司会の役割について捉える。
  - ・文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く。
  - ・相手や場面に応じて適切に敬語を使う。
  - ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

### <算数>

- よくできていた領域 「数量関係」
  - ・除法で表すことができる二つの数量の関係を理解している。
  - ・直径の長さと同周の長さの関係について理解している。
  - ・百分率を求めることができる。
  - ・示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断することができる。
  - ・示された考え方を解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現することができる。
- △課題がある領域 「図形、数と計算」
  - ・円周率の意味について理解している。
  - ・1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができる。
  - ・小数の除法の意味について理解している。
  - ・示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができる。

### <理科>

- よくできていた領域 「地球」
  - ・堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。
  - ・土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる。
  - ・実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できる。
- △課題がある領域 「生命、物質」
  - ・安全に留意し、生命を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる。
  - ・調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析できる。
  - ・骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解している。
  - ・人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できる。
  - ・ろ過の適切な操作方法を身に付けている。
  - ・物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる。

### <質問紙>

- よかった点
  - ・人の役に立つ人間になりたいと思っている。
  - ・学校のきまりを守っている。
  - ・課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる児童が多い。
  - ・社会や自然のことがらに不思議に思ったり、おもしろいと感じたりする児童が多い。
  - ・家で、学校の宿題をしている。
  - ・家の人に学校での出来事について話している児童が多い。
- △改善したい点
  - ・将来の夢や目標をもっていない児童がいる。
  - ・家で計画を立てて勉強している児童が少ない。
  - ・テレビやビデオ、DVDを見たり、ゲームやインターネットをしたりしている時間が長い。
  - ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる児童が少ない。
  - ・住んでいる地域の行事に参加する児童が少ない。

## 2 今後の本校の取組について

### 学校で力を入れたいこと

- ・子どもの思考の流れに沿った単元を展開し、子どもが主体的に課題を解決するような授業を創造する。
- ・根拠のある考えをもたせるために学習指導の過程において、教材教具を工夫したり、実験や体験などの経験をさせたりする。
- ・学習指導の過程において、仲間との関わる場面を意図的に設定したり、学習形態を工夫したりすることで新たな考えに気付くようにする。
- ・板書や切り返しの発問を工夫し、考えを深めることができるようにする。
- ・算数の少人数指導を充実させ、個々に合った指導法を工夫する。

### 家庭にお願いしたいこと

- ・予習や復習に進んで取り組むことができるように、家庭学習をする習慣の定着を図る。
- ・家庭学習の時間を確保することができるようにテレビやゲームの時間、携帯やスマートフォンの使い方など、約束事項を再確認する。
- ・地域、家庭、学校が連携して子どもを育てていくことができるように、家族で地域行事やPTA活動になるべく参加する。
- ・学校生活に前向きに取り組むことができるように、学校での出来事について、一日一回は親子で話をし、温かい励ましの言葉をかける。
- ・明るい将来を描くことができるように、親子で夢についての話をする機会をつくる。

今後も学校と家庭・地域が協力して、子どもたちを育てていきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。